

加藤景  
孝編輯

日本帝國九族相續法等親服忌圖解全

六番名

73  
6369



7 3  
6369

加藤景  
孝編輯

日本帝國九族相續法等親服忌圖解全

加藤景

去五味均平蔵

加藤景  
07

福治

六七三

卷之四  
日本帝國

日本帝國大給時辰本卷縣郡志圖解



本正和國平錄

日本帝國九族相續法等親服忌圖解

服忌例言

一本篇ニ掲クル所ノ等親ハ儀制令ニ取ル其等親ノ服忌  
令ニ於ル義ヲ同シクシテ名ノ異ナルモノアリ故ニ圖内其  
名ノ異ナルモノハ兩種ヲ並ヘ書シ其名ヲ同シクスル者ハ  
中央ニ書シ又等親ヲ其名アリテ服忌令ニナキ者ハ  
服忌ノ有無ヲ書セズ服忌令ニ其名アリテ等親ニ  
ナキ者ハ等親ヲ書セズ以テ之ヲ各別ス

一圖中ニ定式ノ服忌ノ書シテ半減等ノ變則ヲ書ス  
ルニ及ハサルモノハ圖内小ニシテ書シ易カラザルカ故ナリ  
仍テ此等ハ服忌ノ條ニ説明シイロハ合符ヲ付シテ照

索ニ便ナラシム

一服忌ノ條東順叙ハ服忌令條目ニ因ル

一圖中繩線ヲ引タルハ九族相續線ナリ細線ハ血屬線ナリ

一服忌令中今日ノ例（弟養子及ニ相續セサル養子ノ類）ト少シク矛盾ス

ルモノアリ暫ク措テ後議ヲ待ツ

一本篇ニ記載スル母方曾祖父三人高祖父七人ノ系圖ハ服忌令元文元年十一月定ムル所ノ圖ニ因ル佛國相續法ニハ宗系外族ヲ以テ之ヲ分ケ其系統略相似タリ

明治十年十二月

日本帝國九族相續法等親服忌圖解

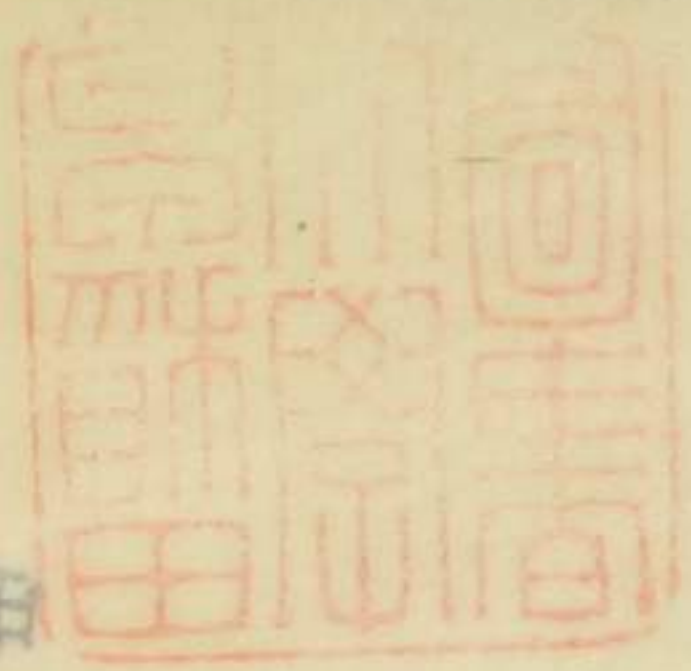
九族

九族ト云フハ我高祖ヨリ我玄孫マテ上四代下四代ニ已レ身一代ヲ加ヘ總テ九代ナリ之ヲ九族ト云一説ニ己カ身上ハ父ヲ親ニ下ハ子ヲ親ニテ三ナリ又父ヲ以テ祖ヲ親ニ子ヲ以テ孫ヲ親ニテ五ナリ又祖ヲ以テ高祖ヲ親ニ孫ヲ以テ玄孫ヲ親ニテ九ナリ之ヲ九族ト云禮記ノ喪服小記ヨリ出ツ又一説ニ父族母族三妻族ニ合セラ九族ナリ詩經ニ見ヘタリ姑ク第一説ニ從テ圖解ス

相續法

相續法ハ己ヨリ以上尊屬タル父祖父曾祖父高祖父己





日本帝國の皇統繼承法

ヨリ以下、卑屬タル子孫、曾孫、玄孫ニ至ル迄、已レト直系ノ係  
屬ナルヲ以テ之レヲ宗系親ト稱シ、其宗系タル子孫ハ其子  
孫在ラン限りハ、傍系ニ先ツテ相續ス可シ、故ニ新律ノ戸婚  
ニ立嫡違法ノ明文アリ、庶子ノ嫡長子孫ヲ犯ス可カラサルヲ  
云フナリ、明治六年第二百六十三號公布ニ家督相續ハ必  
總領ノ男子タル可シ云々ノ法則アリ、相續順叙ハ越イ  
ラス、及ヒ傍系ヲ犯ス可カラサルヲ云フ也、又明治九年一月  
十八日政府ノ定メ、該家血統ノ長女長孫女ニテ其家  
相續ノ權ニ於テハ長男長孫ト同視スベシトアリ、由是觀之  
總テ相續ハ其宗系ノ順叙ニ從フハ論ラ俟スト、虽若シ



亡没廢疾等ノ外、不得止場合ニ於テ、其制外ニ出ル出  
願ハ特例ニ政府ノ許可ヲ經テ後ニ行フモノトス、  
等親

五等親ハ大寶令ノ内儀制令ニ出ツ、是レ天皇ノ御服ノ  
親ヲ知ラシメ、臣下ノ親族等ヲ存セシカ為ナリト、法曹  
至要抄ニ見ヘタリ、子ノ五等ハ親族ヲ差等シテ五段ニ  
之、之ヲ五等ノ服假ト云、其服一年、五月、三月、一月、七日  
ノ五等ナリ、然リ而シテ服アル者ハ必假ヲ賜フ假ハ暇也、  
猶令ノ忌ノ如キナリ、後世之ニ換ルニ服忌令ヲ以テシ  
テ、神祇官ニ用フル服忌令アリ、僧正天海ノ撰スル服

忌量アリ。林道春氏考フル所ノ服忌令アリ。今行ハ  
所ノ武家式ト云フハ元禄年間改正スル所ノ服忌令  
是ナリ。

但新律ニ等親ノ目アリ。刑法ニ依テ設ル所ノ名  
例ニシテ古ノ儀制令トハ大同小異。服忌令トハ最別  
例ナリ。然ルニ新律ヲ以テ服忌令ニ比較シ或ハ彼此  
名稱ノ相異ナルコトヲ疑難スル者ハ非ナリ。

### 服忌

(イ) 父母ハ實父母ヲ云フ。實父母ハ人ノ養子ニナリ。或本  
家ヲ相續シ又ハ身分何程替リ及ヒ離別セラレタリモ

### 服忌差別

養子ノ養父母ニ於ル服忌三十日。百五十日トス。是ハ養  
家ヲ相續セサル養子ナレハナリ。此養子ハ却テ實家  
ヲ以テ重シトシ定式ノ服忌ヲ受ルナリ。遺跡相續分  
地配當ノ養子ハ實父母ノ如ク五十日。十三月ノ服忌ヲ  
受ルモノトス。然ル時ハ實家ノ親類半減ノ服忌タル  
ヘシ。

子ナクシテ家断絶ニ親類其外ヨリ名跡相續ヲ  
願フ者ハ月日ヲ經其各跡ヲ申付ラレタル日ヨリ五十  
日。十三月。養父ノ服忌ヲ受ケ其外ノ親類モ定式ノ

服忌ヲ受ル也

(口)嫡母トハ妾腹ノ子ヨリ父ノ本妻ヲ指ス妾腹ノ子出生ノ後ニ父後妻ヲ迎フレハ嫡母ト稱セズ繼母ナリ初ヨリ對面セサレハ服忌ナシ通路スルニ於テハ服忌ヲ受ヘシ

新律ニ所謂庶子トハ嫡母ヨリ妾腹ノ子ヲ指シテ云フ也儀制令ノ三等親ニ其目ナシト雖令義解ニ今ハ妻妾ノ子モ亦同シトアルニ因テ考レハ庶子ノ名稱ハ是ニ因レルカハ百五十年十一月十八日ハ繼母ハ初ヨリ同居セサレハ服忌ナシ父ノ先妻ノ子

(一)ヨリ父ノ後妻ハ幾人ニテモ繼母ナリ父ノ入夫スルニ隨テ其家籍ニ入ル子ハ父ノ後妻ヲ繼母トス

尤繼母方ノ親類ニハ服忌ナシ其其女ト云フ

父死去以後母後夫ヲ再迎シ或ハ子ヲ連シ縁ニ付キ先キノ夫ノ籍ニ入ル者ノ如キ之ヲ繼父トス

繼母ハ父ニ因リテ生スルヲ以テ二等親トシ繼父ハ母ニ因リテ生スルヲ以テ三等親トス

夫ノ前ノ妻妾ノ子トハ繼母ヨリ指シテ云フ前夫ノ子トハ繼母ヨリ妻ノ前夫ノ子ヲ指シテ云フナリ

(二)夫ヲ解養子ニ取極ノ未夕婚姻整ハサル内ハ

服忌十レト雖忌ノ日數程三十日遠慮スヘシ  
夫ノ忌ハ三十日十リト雖服ニ至テハ父母ト同例  
ナリ之ヲ重ニスレハ也

(ホ)妻ハ初妻後妻ノ差別ナク聘禮取替也(今ハ戸籍届キ)

ノミニテ未婚姻整ハ廿九ハ二十日ノ遠慮ナリ幼

年ニテ妻ヲ迎ヘ縁女ト称スル者ノ如キモ同例ナ

リ(今ノ例ナリ)妻ノ父母ト女婚共服忌十レト雖其女亡没後

タリトモ名稱ハ消滅セス

(ハ)嫡子ハ總領ナリ家督ニ定メサレ時ハ末子ノ服

忌タルヘシ

女子ハ總領ニテ其家ニ差置キ聶養子ヲ取リ

テモ末子ニ准ス

末子ハ他ニ養子ニ遺リタリトモ服忌ノ差別ナシ

我家ノ家督ト定ムレハ嫡子ノ服忌タルヘシ妾

腹ノ子差別ナシ

妾腹ノ男子アリ其後本妻ノ子出生スレハ妾腹ノ

子ハ年長タリ共次男ト稱ス

養子家督ニ定ムル時ハ嫡子ノ服忌受ルナリ

養女ハ都テ實女子ニ准ス



忌タルヘシ

女子ハ總領ニテ其家ニ差置キ智養子ヲ取リテ  
モ末子ニ准ス

末子ハ他ニ養子ニ遣リタリトモ服忌ノ差別ナシ

我家ノ家督ト定ムレハ嫡子ノ服忌タルヘシ妾

腹ノ子差別ナシ

妾腹ノ男子アリ其後本妻ノ子出生スレハ妾腹

ノ子ハ年長タリ共次男ト稱ス

養子ヲ家督ト定ムル時ハ嫡子ノ服忌受ル

ナリ

養女ハ都テ實女子

ト夫ノ父母トハ舅姑ノ事也夫養子ナレハ夫ノ実方

父母服忌ナシ家督相續分地配當セサル養子

ナレハ夫ノ父母養實共ニ服忌ナシ總テ女子ハ夫

方ノ親類服忌ナシ誼家夫ノ父母ニ限り服忌

ヲ受ルナリ里方ノ親類ハ總テ定式ノ服忌ナリ

租父母ハ父ノ実方、実父方、実母方、母ノ実方共何

レモ半減ノ服忌ナリ

離別セラレシ祖母ハ妻タリ共實祖母ナレハ服忌差

別ナシ



養父ノ実母、妻十ニ時ハ、養子ノ為ニ服忌十ニ、  
 (リ)父方祖母ノ実父母ハ、母方ノ曾祖父母トス、蓋シ概シテ  
 之ヲ母方ト云フハ、祖父ノ母方ト云フヲ、略言セシテラニ  
 故ニ母方曾祖父母、總計六人アリトシ、何レモ遠慮一  
 日、離別ノ曾祖母モ、前條祖母ト同例ナリ、曾孫人ノ  
 養子ニナル時ハ、服忌遠慮ナシ、父母ニ別ニ親  
 (又)父方曾祖母ノ父母ハ、母方トス、故ニ母方ノ高祖父母、總  
 計十四人トシ、各遠慮一日ナリ、  
 (ト)玄孫人ノ養子トナル時ハ、服忌遠慮十ニ、  
 (ニ)父母種替リ、兄弟姉妹ハ、半減タル可シ、



父ノ実方、実父母方、何レモ半減、  
 伯叔父人ノ養子ニナリ、他家へ出レハ、半減ノ服  
 忌ナリ、  
 等親ニ、母ノ兄弟ヲ舅トシ、姉妹ヲ姨トシ、四等  
 親ニ下リタル共、服忌令ニ於テハ、父方母方ノ差  
 別ヲ以テ節減スルノミ、  
 (三)兄弟姉妹ハ、前妻後妻ノ別、腹タリ共、服忌差別  
 ナシ、  
 (四)兄弟人ノ養子ニナル時ハ、実方兄弟姉妹相互ニ半  
 減ナリ、

姉妹ハ他ニ嫁スルモ服忌ニ差別ナシ人ノ養女ニナ  
リ養女先ヨリ縁付ク時ハ実方兄弟姉妹半減タ  
ルヘシ

異父兄弟姉妹トハ母ニ度添ノ子ヲ云尤死後後  
添モ離別ノ後添モ同事ナリ故ニ離別ノ母他  
ヘ嫁ニ先キサキニテ出生ノ子及ヒ其家ニ養子ニ来  
リタル子モ連レ子トハ異父兄弟姉妹同列ナリ  
等親ニテハ一等ヲ下タス服忌令ニテモ半減ノ差ア  
リ  
異母兄弟姉妹トハ父ノ身分養家幾度モ替ル

行ク先キサキニテ生ニタリ子トノ間ヲ云フ也是ハ  
實ノ兄弟姉妹同列タル可シ

嫡孫ハ總領ノ跡ヲ継ヘキ孫ヲ云總領家統ヲ継カス  
ニテ嫡孫ヲシテ直キニ家統ヲ承ヒル之ヲ嫡孫承  
祖ト云フ然ル時ハ嫡子ノ服忌ヲ受ヘシ嫡孫ヨリ祖  
父母ノ方ヘ父母ノ服忌ヲ受其外ノ親類ハ本續ノ  
通リタルヘシ

養子ニ造リタル子ノ子外孫ハ服忌ナシ  
娘方ノ孫外孫服忌同列  
女孫ハ最初ニ生レテモ末孫ニ准ス

（五）**娘方**曾孫玄孫服忌十日

嫡子方曾孫玄孫八末孫ノ通り服忌ヲ受ヘシ尤總領末子ノ差別ハ十日

（三）兄弟ノ子相呼テ從父兄弟トシ長者ヲ兄トシ少者ヲ弟トス

父ノ姉妹ノ子及ヒ母方モ服忌同例

總テ其身養家ヲ相續スレハ實方從弟相互ニ服忌十日又他家相續ノ伯叔父ノ子相互ニ服忌十日

（四）父母種替リノ兄弟姉妹ノ子服忌十日

等親ニ從父兄弟姉妹ヲ三等親トシ姑ノ子及ヒ舅姨ノ子ヲ五等親トス

服忌令ニテハ其差別十日

（六）甥好ハ姉妹ノ子モ服忌差別十日

異父兄弟姉妹ノ子ハ半減ナリ總テ三日七日ノ服忌ニ半減アルハ此異父兄弟姉妹ノ子ニ限ルト知ル可シ

（七）甥人ノ養子ニシテハ服忌十日實方甥姪服忌十日兄弟

他家ノ養子トナリテハ服忌十日

（八）等親ニ兄弟ノ子（姪）ハ二等親姉妹ノ子（甥）ハ四等

親トス服忌令ニテハ其差別十日蓋シ姪ノ二等親ナル所以ハ兄弟ノ子ハ猶子如ク視ルヲ以テ引テ

進ムルナラニ三等親ニアル夫ノ姪モ之ニ同シ義解ニ其説見ヘタリ

(一)妻ハ服忌ナシ子出生スルニ於テハ三日遠慮タル可

父ノ妾服忌ナシ

(二)又甥又姪ハ兄弟方姉妹方ノ差別ナシ等親ニテハ兄弟

ノ孫ノミヲ四等トス

(三)又甥又姪ノ甥姪曾祖父大伯叔父母母ノ子從弟從弟違大伯叔父母ノ子又我ノ

從弟從弟又從弟從弟ハ舊制ニテヲ遠類ト稱シ無服ト

不不等親ニハ悉ク其名稱ヲ異ニシ之ヲ四等ニ置ク

○七歳未満ノ小兒ハ服忌ナシ父母ハ三日遠慮其外ノ

親類ニテ服忌ヲ受ヘキ續ノ者ハ一日遠慮タルヘ

ニ日數過キ承コレハ遠慮ニ及ハス小兒ノ方ヨリ父母

ハ對シ五十日遠慮其外ノ親類ハ一日遠慮タルヘ

○聞忌ハ月日ヲ經テ告来ルトモ父母ハ聞付ル日ヨリ

定式ノ服忌ヲ受其外ノ親類ハ聞付ル日ヨリ殘日

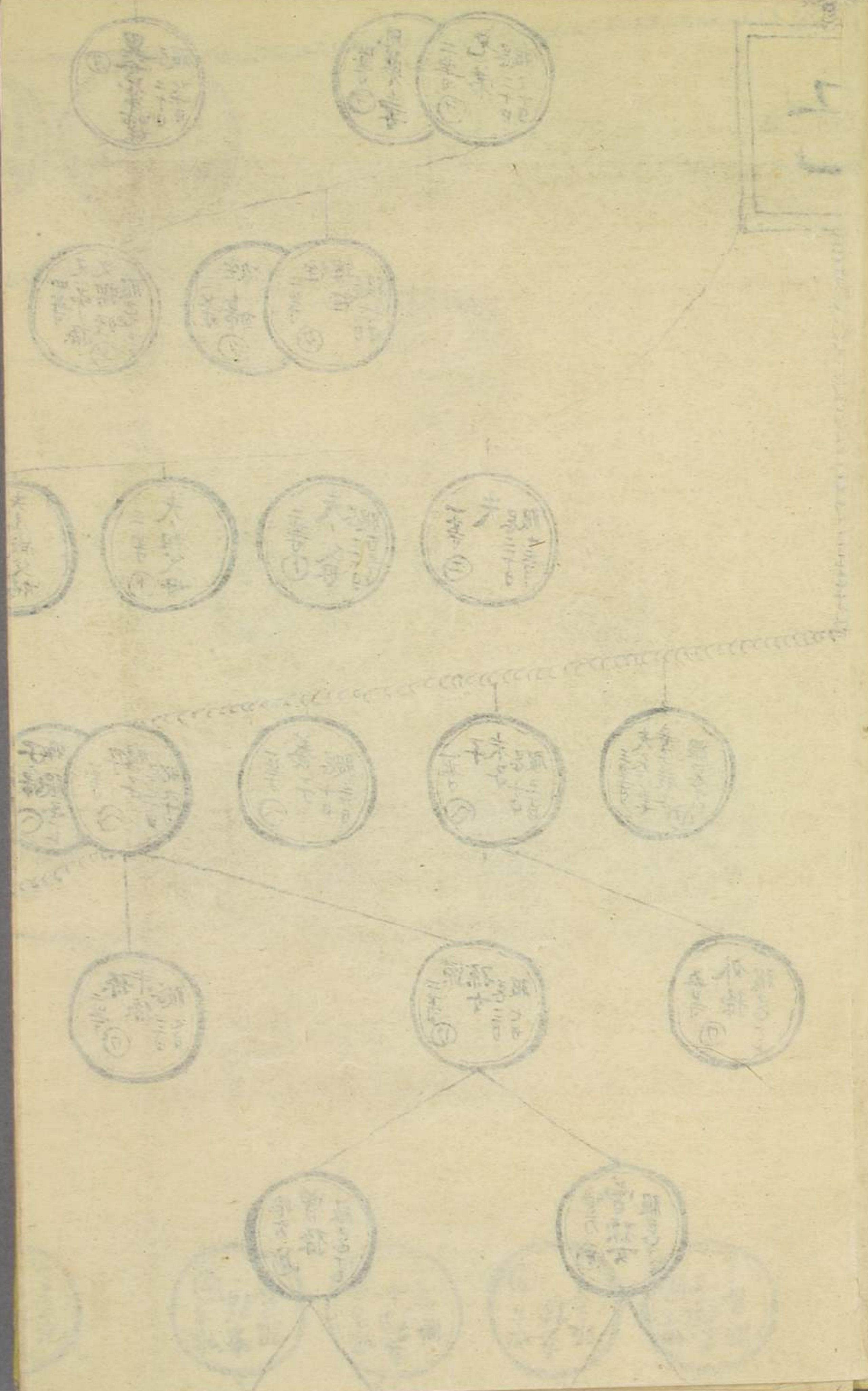
數ノ服忌ヲ受ヘシ忌ノ日數過テ承ハレハ一日遠

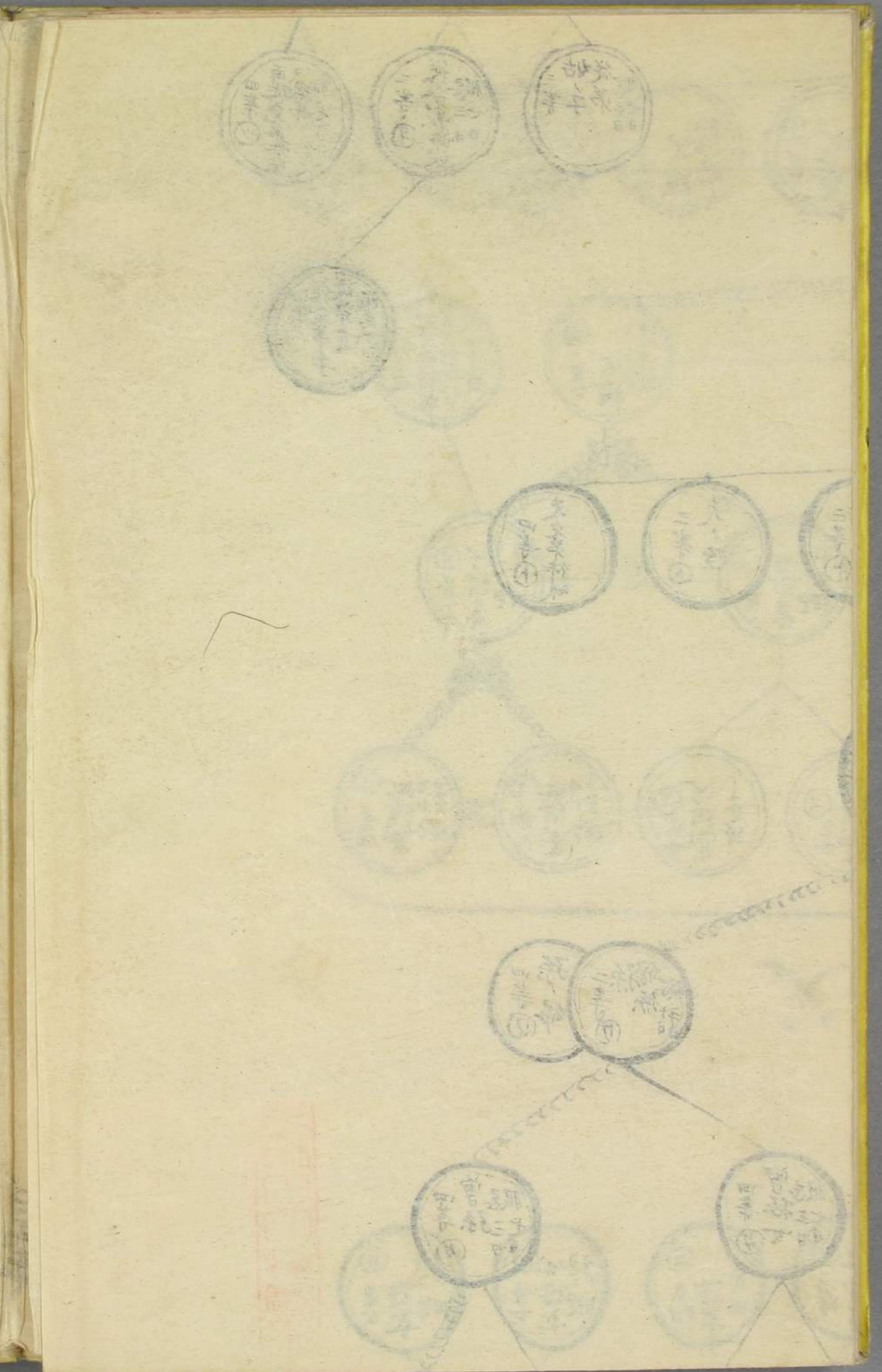
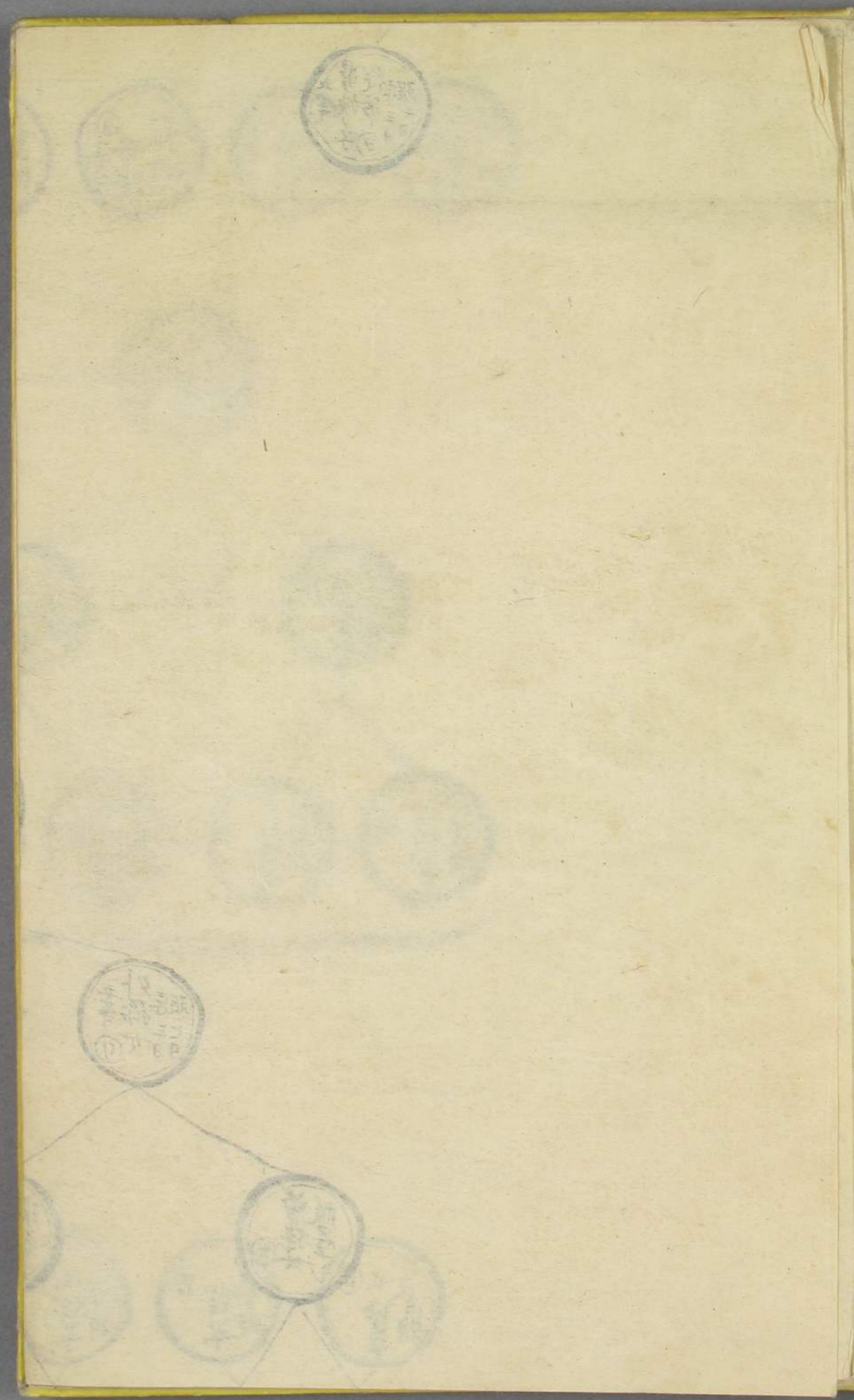
慮タルヘシ

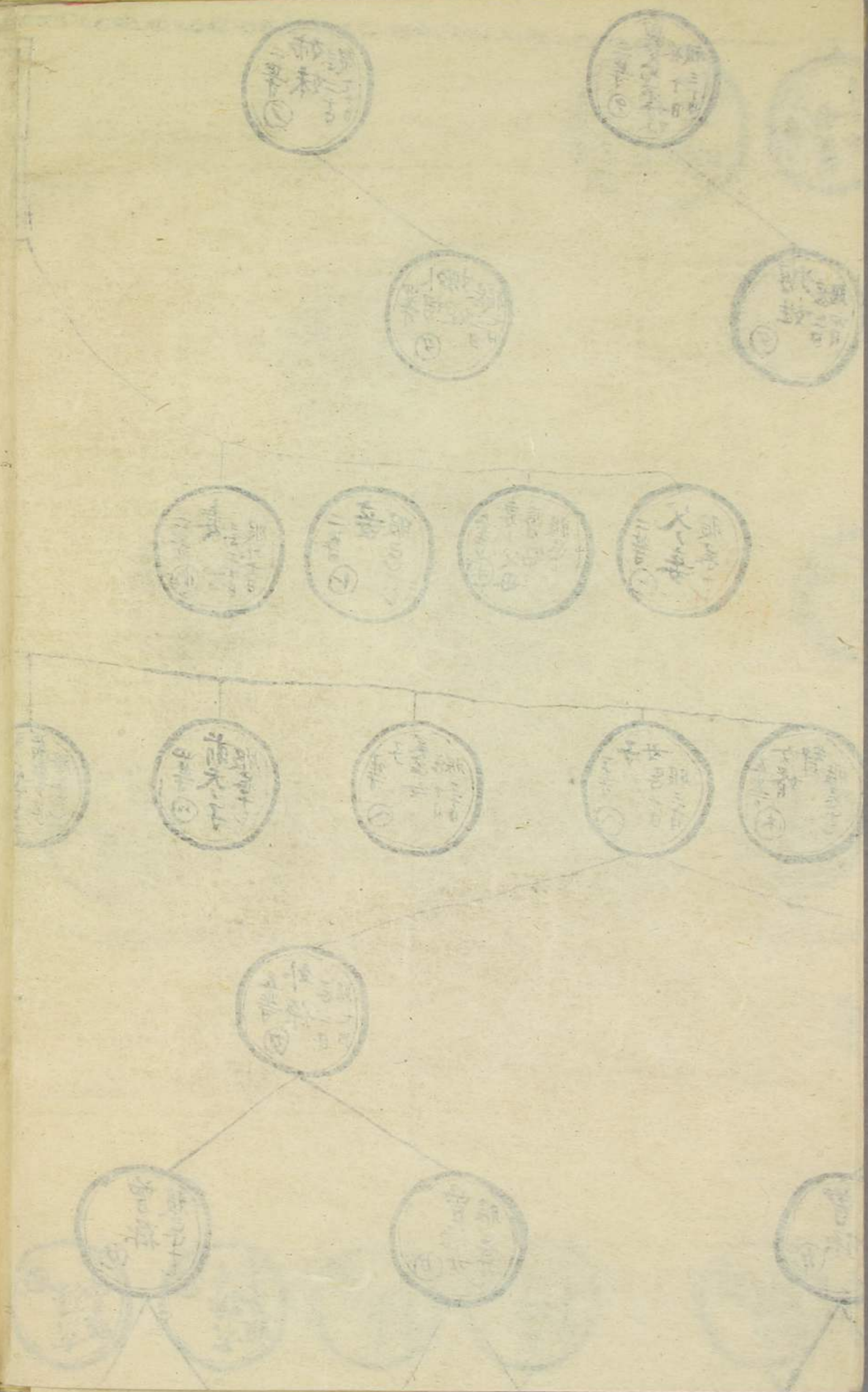
○重ル服忌ハ重キ服忌ノ内ニ輕キ服忌ヲ受輕キ

服忌ノ内ニ重キ服忌ヲ受ルナリ最前ノ服忌

終ルヲ待テ更ニ次ノ服忌ヲ受ルニハ非サルナリ。  
 ○改葬ハ父母ハ一日遠慮其外服忌ヲ受ヘキ親類  
 ニテ其場ニ立會スレハ一日遠慮スル可シ。  
 ○産穢 血荒 流産 死穢 踏合  
 右ノ五ヶ條壬申二月廿五日第五十六號六年二月  
 廿日第六十一號公布ニ於テ廢セラレタリ  
 ○凡服忌ノ半減トハ三十日ハ十五日ナリ余ハ之ニ  
 准ズ但三日ノ半減ハ二日七日ノ半減ハ四日ト  
 定メタルハ多キヲ取ルノ義ナリ。  
 ○大藏本朝ノ律ハ八節云十六父母ハ三日遠慮スルハ







編輯人

士族

藏版人

平民

加藤景孝

東京分四大區示  
區神田錦町二  
丁目三番地

羽毛田侍郎

東京分一大區十五  
小區龜島町一丁  
目五十六番地

右一巻ハ山壽

弘子ヨリ借用イタシ

膳寫ス





Handwritten text in the upper right corner, possibly a title or address, including a red seal.



瀟 烟 入

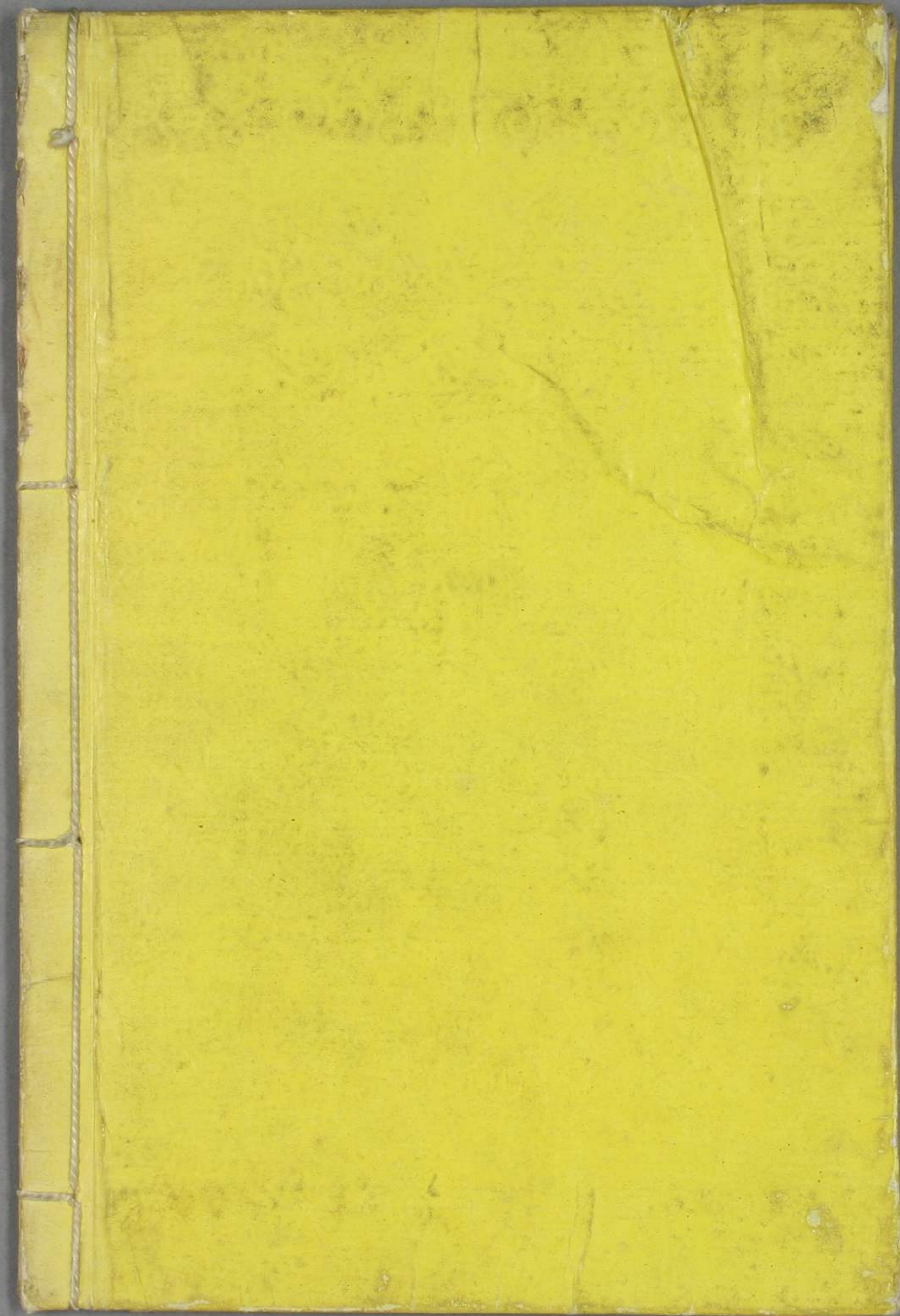
平 月

臨 解 入

十 款

Handwritten text in the lower right section, including the characters '田' and '部'.

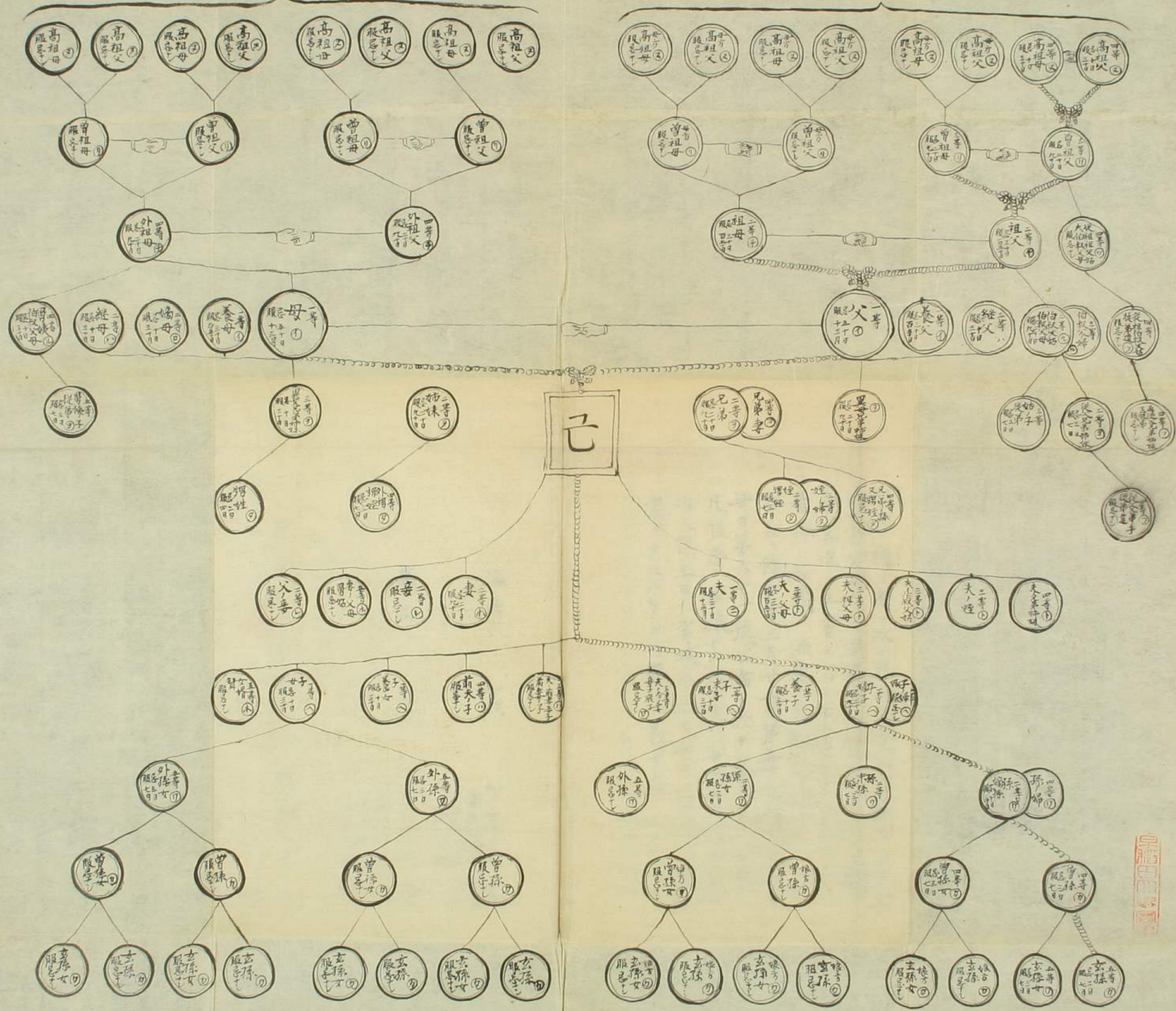
Handwritten text in the lower left section, including the characters '田' and '部'.



# 日本帝國九族相續法親等忌圖

方 母

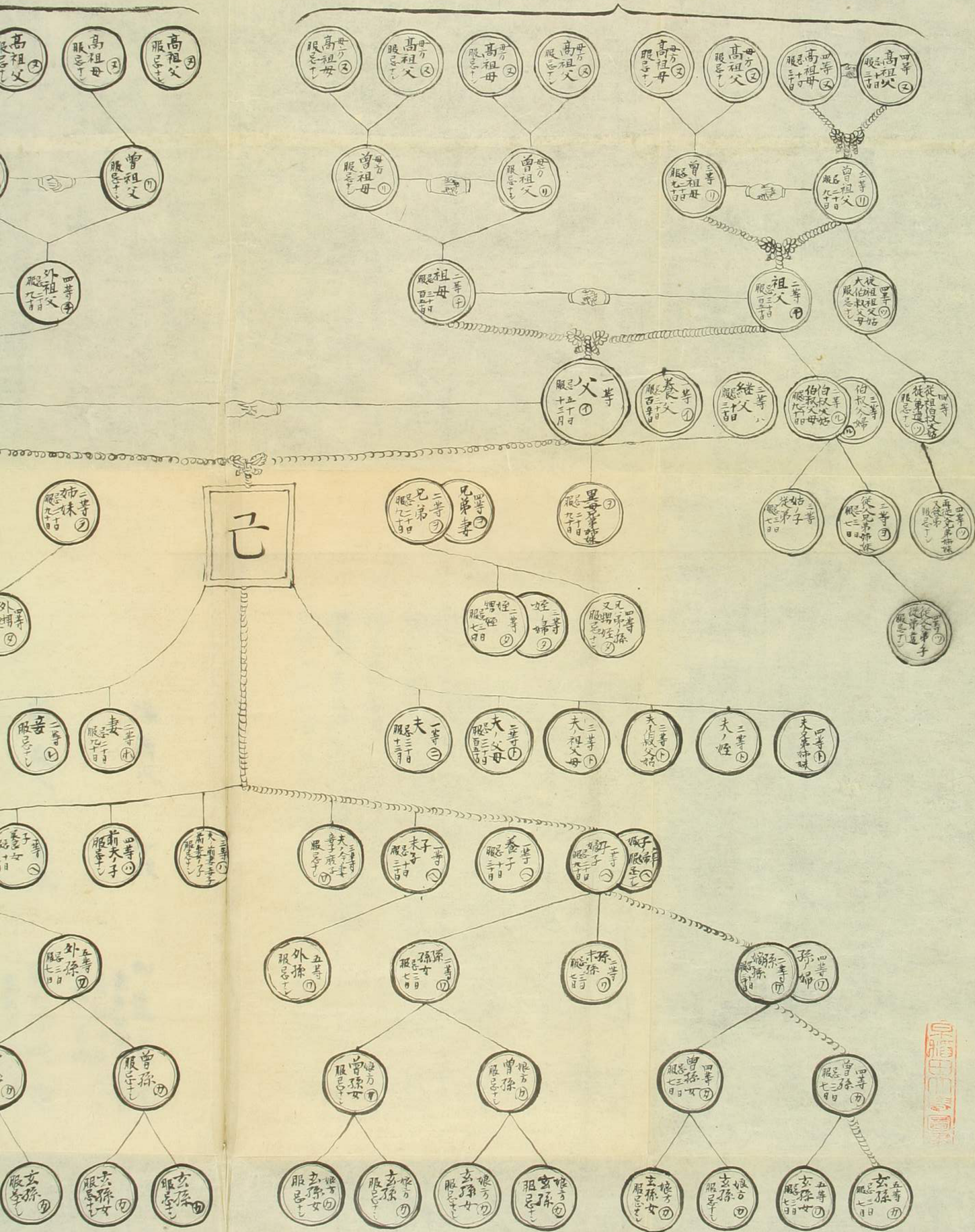
方 父



2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5 6 7 8 9

# 日本帝國九族相續法等現

## 父方



# 九族相續法等親服忌圖

## 方 母

